

広島市植物公園 見どころ案内

2023年12月20日
通巻第605号

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

① 展示資料館 (11/25~12/24)
私の好きな花たちの写真展

② 展示温室 (11/23~12/25)
クリスマス飾るフラワー展

クロマツの雪吊り

雪に備えて、日本庭園のクロマツに雪吊り^{しつら}を設けています。冬の風物詩をお楽しみください。

チャバンセンニン

(ススキノキ科)

南アフリカ原産のアロエの一種。明るいオレンジ色の花を咲かせています。和名は、学名のアロエ・チャバウディーをもじったものです。

キルトンサス、アロエのなかま

ポインセチア

(トウダイグサ科)
クリスマス連想させる植物の一つ。展示温室のポインセチアの「巨大クリスマスツリー」は必見です。大温室には、高さ約3mの大株も。

アフリカスミレ

(イワタバコ科)

室内園芸の女王「セントポーリア」やイワタバコのなかまをロビー展示しています。

★大温室で見頃の花・果実
アンズリウム、スパティフィラム、オヒルギ、ラッセリア、オウコチョウ、ハナアナナス、サンゴアナナス、モノルナ・プリムリフロラ、洋ラン各種【コチヨウラン、カトレヤ、マキシラリア、エピデンドラム、オンシジウム、パンダ】、カカオ、【コショウ、ソーセージノキ、ゴレンシ、コーヒーノキ、ホワイトサボテ、アメタマノキ、バナナ各種、パパイヤ、チューインガムノキ、パンノキ(以上は実)、ツンベルギア、ジャスミンム・ノビレ、ポインセチア、カリアンドラ、ブーゲンビリア、ウナツキヒメフヨウ、パボニア・グレヒリー、アリアケカズラ

トガリバヒメツバキ

(ツバキ科)

中国・台湾・東南アジア等に分布するツバキの野生種。ほんのり紅をさした可憐な白い花が一面に咲いています。

グランサムツバキ

イイギリ (ヤナギ科)

東アジア原産の落葉高木。大きな葉にご飯を包んだことから、和名は「飯桐(イイギリ)」。秋に赤い実が房状に垂れ下がることから、別名は「南天桐(ナンテンギリ)」

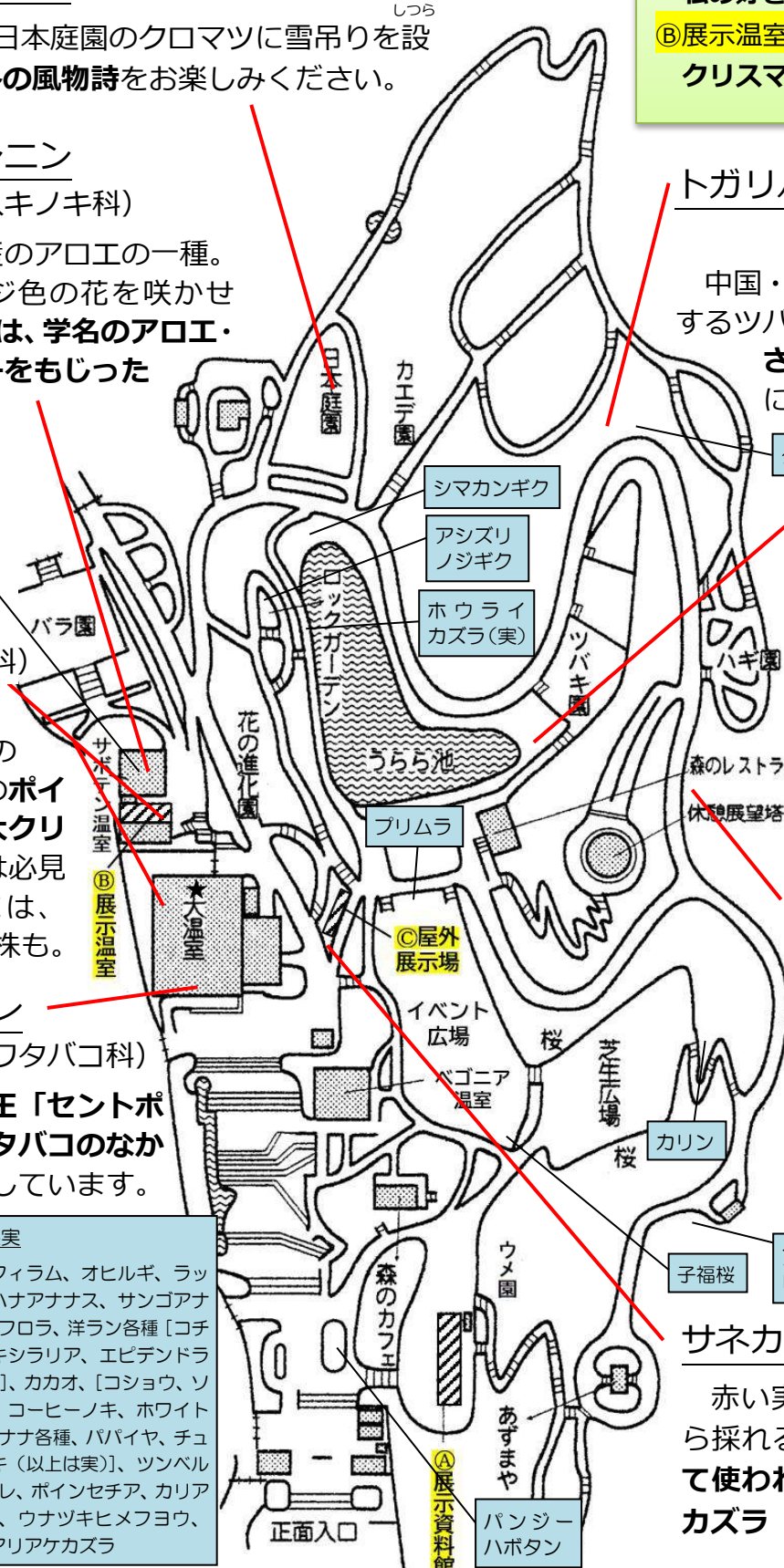
ヤマコウバシ

(クスノキ科)

冬に葉が枯れても、枝についたまま春に新芽が出るまで、葉は落ちません。これにあやかり、売店で、合格祈願のお守りとして販売しています。

サネカズラ (マツブサ科)

赤い実が鈴なりです。葉や茎から採れる粘液は古くは整髪料として使われていたことから、ビナンカズラ(美男葛)とも呼ばれます。



❁ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❁
❁ 12/26(火)、1月6日(土) 午前11時～は、職員による植物うんちく語りを実施します ❁